

# 長浜市男女共同参画を進めるパートナーシップ委員会 要点録

## (令和2年度 第1回)

開催日時 : 令和2年7月22日(水)午後3時30分～午後5時00分

開催場所 : 市役所本庁舎 5階 5-A会議室

出席委員 : 京樂委員、増田委員、月ヶ瀬委員、山田委員、北川委員、中村委員、磯崎委員、  
森川委員、廣部委員、本田委員

欠席委員 : 下地委員、平井委員、石倉委員

事務局 : 市民協働部長、人権施策推進課職員4人

議 事 : 議事第1号 委員長、副委員長の選出について

議事第2号 長浜市男女共同参画行動計画の進捗状況について(報告)

### 1. 開 会

### 2. 委員の委嘱

市長より委嘱状の交付

### 3. あいさつ

市長よりあいさつ・事務局自己紹介・委員自己紹介

### 4. 議 事

#### (1) 議事第1号 「委員長、副委員長の選出について」

委員長……京樂委員 副委員長……月ヶ瀬委員 にて承認。

#### (2) 議事第2号 「長浜市男女共同参画行動計画の進捗状況について(報告)」

○様式1号(P5～P9)について、事務局から説明

#### 【様式1についての質疑・意見交換】

(委員長)

問2-4「イベントでの託児サービス・授乳スペースの提供・要約筆記・手話サービスなどの配慮、工夫はありましたか？」という質問に対しての「いいえ(16)」回答について。イベント等の中には、不特定多数の方を対象にしたイベント等もあれば、(託児サービス等の配慮が不要な)自治会役員など、特定の方を対象とした説明会なども含まれており、一概に配慮・工夫ができていないと言い切れないとの説明がありました。そのようなイベントに関しては、母数から外し、あわせて「意識としてはあったけれども、今回必要がなかった」という回答ができるようにするのはいかがでしょうか。

あわせて、問4「市民への窓口対応や情報の提供にあたって、貴課では合理的配慮が必要となる人に対して、配慮を行いましたか？」という質問に対しての「いいえ(9)」回答も同じように、市民向けの窓口を設けておらず、配慮を必要とする来庁者がなかったとの回答がありました。こちらも「意識はあったけれども、

機会がなかった」という回答ができるようになればと思います。

「必要性を認識しているか(意識があるか)」と「そのような場面があったか」の2段階の質問があれば、それぞれの配慮についての職員の意識を測ることができ、今後のモチベーションにもつながると思います。

問5「女性委員の割合」についてはまだ課題があると感じます。引き続き取組を進めてください。

(事務局)

問2-4、問4の質問については2段階などで、その方法について次年度に向けて見直しをおこないたいと思います。質問項目を変更する際にはまた委員の皆様のご意見、よろしくお願ひします。

問5については、庁内向けに女性人材バンクの活用や、団体推薦の際には「長」ではなく「代表」に広げるなど、女性委員の割合の向上に向けての周知を行っております。引き続き取組を進めてまいります。

○様式2(P10~P32)について、抜粋シート(P12)を中心に説明

#### 【様式2についての質疑・意見交換】

(委員)

「休日保育実施箇所」について、現在実施されておらず、今後も実施されないとのこととても残念ですが、保育士さんの人数や働く環境を考えると様々な課題があるとも想像できます。そのような課題解決に向けてどのようなお考えがあるかお聞かせください。

(事務局)

現状としては、休日にお子さんを預けたいということだと、「ファミリー・サポート・センター」という市民同士の相互援助活動の利用、または民間の認可外保育施設での一時預かり(定員に空きがあれば)の利用ということになります。幼児課より保育施設の再編、民間活力の導入、保育士の確保など取組を進め、子育て支援環境の充実を引き続き進めてまいります。との報告を受けています。

(委員)

休日に、突然、どうしても行かなければいけない用事ができ、子供を預かってもらえる先がなく、困っておられる声を聞きます。市として、休日保育の提供が難しいということであれば、先ほどの「ファミリー・サポート・センター」や「認可外保育施設での一時預かり」などについて十分周知する必要があるのではないのでしょうか。加えて、「ファミリー・サポート・センター」「病児保育」「病後児保育」などについては事前の登録などが必要であると思いますので、今後の利用を考えてその「登録」などについても伝えることが、子育てしやすい環境づくりの一つだと思います。

(委員)

一時預かり無料利用券について。サービスを実施する園に、事前に利用登録の申込などの手続き等をしなければならない、預けるまでのプロセスを考えると、その券の利用を諦めてしまう方もおられると思います。「ちょっとお願い」の声がもう少し簡単に届くようになると、子育てしやすくなると思います。

あわせて「休日保育」についてはどのくらいニーズがあるのでしょうか。ニーズを把握していただき、多くのニーズがあるなら、市として取り組んでいっていただきたいと思います。

(委員長)

ニーズ調査の際は、今ないことを前提として聞くのではなく、「休日保育があればよいと思いますか」といった聞き方をしていただきたいと思います。そうすることで、潜在的なニーズを掴むことができると思います。ニーズ調査をぜひ進めていただきたいと思います。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。担当の幼児課に本日のご意見をしっかりと伝えていきたいと思えます。

(委員)

子供が病気になった時、仕事を途中で抜けて園や学校に迎えに行ったり、子供の検診のため仕事を休んだりする役割の多くを女性が担っているという現状があると思います。これから男性も女性も子育てに積極的に関わっていくには、男性の意識の変化に加えて職場での環境づくりが必要なのではないのでしょうか。企業は男性社員が子どもの病気のために仕事を急に抜けたり、検診のために休みをとったりすることを後押しするといった姿勢が必要だと感じます。その点では市から企業への働きかけが重要なのではないのでしょうか。

(事務局)

市では毎年、長浜市企業内人権教育推進協議会登録の事業所に市職員が訪問し、人権・男女共同参画に係る聞き取り、あわせて啓発を行っています(今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため電話にて聞き取り)。その中で、男性も女性も子育てしやすい職場づくりの啓発を行っています。この取組をとおして職場における男女共同参画を引き続き進めてまいりたいと思えます。

(委員)

現在市内の中学校では、女子生徒がセーラー服、男子生徒が学生服というところが多いと思えますが、ある学校では、生徒からの制服を選択したりできないかという声を受け、全校で制服を選択できる形にしたということがありました。このような取組が市内に広がればと感じています。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。こういった取組が広がっていくよう各種啓発を進めてまいりたいと思えます。

(委員)

防災、自治会など地域における男女の役割について。たとえば自警団は男性、女性は婦人部となっていたり、災害訓練時、男性は放水、女性は炊き出しなどと分けられていたり、自治会長はいつも男性といった現状を見ると、地域社会にある固定的な性別の役割分担の意識は深く、なかなかそこから抜け出すのは難しいと感じています。

(委員長)

防災に関しては、最近男女共同参画に係る様々な取組が進められています。例えば避難所の運営に関して女性の意見を取り入れていくなど。少しずつではありますが、長浜市でも変わっていくのを期待しています。

(委員)

私の地域では、消火訓練時、できるだけ普段家にいる人に、初期消火の練習をしていただいています。

(委員)

最近の報道を見たり、身近で火災などがおこったりし、災害はいつやってくるか分からないと改めて感じています。しかしながら、今回の進捗管理の中で、防災訓練の女性の参加率がまだまだ低いということで、いつ来るか分からない災害に備えて、その割合をぜひ半数まで引き上げていただければと思えます。

(委員)

休日保育について。休日にお仕事されていて、子どもの預け先が見つからない。一人にさせてしまう。など困っておられる方も多いと思います。休日保育が実施できない理由として、保育士の人数を考慮すると現状維持が限界とのことでしたが、子育てが一段落したベテランの保育士さんに日曜日だけ来ていただくなどできたらよいのではと思います。

防災について。市のほうから、自治会に向けて女性の参加しやすい防災訓練の運営の呼びかけ、啓発を行っていただけるとよいのではないのでしょうか。

(事務局)

多くのご意見ありがとうございました。

防災に関しては、昨年度「男女共同参画の視点で考える災害対応～みんなで考える地域の減災～」と題して当課、防災危機管理局、六荘地域づくり協議会が連携をして防災研修をおこないました。こちらの研修会以降、防災危機管理局の出前講座においては、参加男女数を計り、あわせて男女共同参画の視点をそれまで以上に取り入れるようになりました。引き続き、当課、防災危機管理局が連携し、積極的に地域に働きかけていきたいと考えています。

(委員長)

それでは、議事第2号についてご承認をいただきたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

—異議なし—

議事第2号「長浜市男女共同参画行動計画の進捗状況について(報告)」について承認されました。

## 5. 閉会